

## たしざんかな？ひきざんかな？視点2, 5

1. 単元名 のこりはいくつ ちがいはいくつ (1年生 6月)

### 2. 改善の動機・意図

本単元では、前単元の加法での学習経験をもとに、減法について学習する。たし算の学習では、「全部」を求める計算であることを理解できるように、図の中の求める「全部」を赤色で囲んでいった。

本時は、求残が終わり全体から部分をひく求補の場面で、問題文に「のこり」というキーワードがないがひき算である。絵を手がかりにしなくても、児童が立式やブロック操作に対して必要感を感じながら求めていけるように、中身が見えないおにぎりを教材として提示した。昨年度の実践より、たし算は「全部」をもとめる問題、ひき算は「部分」を求める問題であることを再確認できるように、ブロック操作後、「全部」を赤色、「部分」を青色で色分けして図に書き入れていった。そうすることで、「部分」を求めるひき算であることに気づかせていった。

### 3. 授業の構想

**【もんだい】**

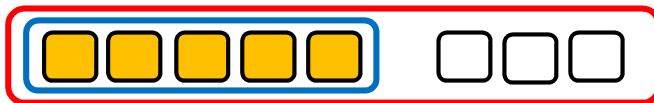
うめとさけのおにぎりが8こあります。  
うめのおにぎりは3こです。  
さけのおにぎりはいくつですか。



- T1 「あわせると」「ふえると」は、たし算だったね。
- T2 「のこり」をもとめるときは、ひき算だったね。
- C1 でも、なにも書いていないよ。たし算かな？ひき算かな？

**<なにざんかな>**

- C2 ブロックでたしかめたい。
- T3 ブロックでたしかめよう。どんなふうにごかせばいいかな？
- C3 8このうち3こはうめだから・・・
- C4 わたしは、わかりやすいように、うめのおにぎり3個を白色に変えました。  
黄色のブロックがさけのおにぎりです。



- C5 ぼくは、わかりやすいように、うめのおにぎり3個を動かして、よけました。  
のこったブロックがさけのおにぎりです。



- T4 ぜんぶのおにぎりの数はどこ？もとめるさけのおにぎりの数はどこ？
- C6 ぜんぶのおにぎりの数は赤色で囲んだ8個。さけのおにぎりの数は青色で囲んだブロック。
- T5 ではなに算かな。言葉の式で言いましょう。
- C7 全部のおにぎりの数－うめのおにぎりの数＝さけのおにぎりの数
- C8  $8 - 3 = 5$  さけのおにぎりの数は5個だね
- T6 では答えあわせをするよ。(のりをめくると具材が見えるようにしておく)
- C9 なくならなくても、ひき算なんだね。